

# Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	国際教養学科				
科目名称	ビジネスコンピューティング				授業形態	演習			
科目コード	590149	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員	○	アクティブラーニング	○
担当教員名	矢野 俊樹							ICT活用	○
授業概要	<p>本科目では1年次の「PC基礎演習Ⅱ」で身につけた表計算に関するスキルを一步推し進め、それらを実際の企業経営においてどのように活かすかを学ぶ。</p> <p>政府を中心にDX(デジタル・トランスフォーメーション)が強烈に推進されている中、企業経営におけるデータ活用の重要性が非常に高くなっている。Microsoft Excelを使用して企業が持つ売上等のデータを分析し業務改善が行えるスキルを身につける。具体的には日商PC検定データ活用2級の合格を目指す。</p> <p>本科目は実務家教員が担当し、都度、実際の企業経営の事例を交えながら分かりやすい解説を行う。</p>								
関連する科目	PC基礎演習Ⅱ								
授業の進め方と方法	<p>知識の分野では講義形式で、実技の分野は教員の実演や動画の視聴により繰り返し演習を行い授業を進める。</p> <p>小テスト及び資料の管理や連絡事項についてはユニバを通じて行う。</p>								
授業計画【第1回】	<p>オリエンテーション、模擬問題の実施</p> <p>授業の進め方や評価方法、テキストの使い方等を説明する。</p>								
授業計画【第2回】	<p>企業で扱うデータの流れ</p> <p>ビジネス社会におけるデータの流れを掴めるよう、図解をもとに説明を行う。</p>								
授業計画【第3回】	<p>業務における計算処理とデータの取り扱い</p> <p>計算処理の方法とデータの取り扱い方法についてテキストをもとに説明を行う。</p>								
授業計画【第4回】	<p>業務データの分析①：利益分析、財務諸表による分析</p> <p>実際の分析手法を学ぶ。P/Lを用いた財務分析は重要項目である。</p>								
授業計画【第5回】	<p>業務データの分析②：グラフによる分析</p> <p>ZチャートやABC分析といった手法で用いるグラフ作成方法を説明する。</p>								
授業計画【第6回】	<p>問題発見と課題解決</p> <p>分析によって企業の問題を見つけ出し、そこから課題設定を行うために身につけるべき能力について説明を行う。</p>								
授業計画【第7回】	<p>表作成の活用</p> <p>表作成の高度な応用術を学ぶ。</p>								
授業計画【第8回】	<p>ピボットテーブルの活用①</p> <p>ピボットテーブルについて高度な応用術を学ぶ。</p>								
授業計画【第9回】	<p>ピボットテーブルの活用②：復習</p> <p>重要項目であるピボットテーブルについて復習を行う。</p>								
授業計画【第10回】	<p>グラフ活用</p> <p>グラフ活用について総括を行う。</p>								
授業計画【第11回】	<p>模擬試験①</p> <p>実際の試験問題に取り組む。</p>								
授業計画【第12回】	<p>模擬試験②</p> <p>実際の試験問題に取り組む。</p>								
授業計画【第13回】	<p>模擬試験③</p> <p>実際の試験問題に取り組む。</p>								
授業計画【第14回】	<p>模擬試験④</p> <p>実際の試験問題に取り組む。</p>								

授業計画 【第15回】	検定試験の注意事項、実際の試験を使った模擬試験の実施 実際の試験問題に取り組む。日商のシステムを用いて実際の試験環境で模擬試験を行う。
授業の到達目標	企業経営における分析手法を学び、それらをMicrosoft Excelを通じて実践ができるようになる。【汎用的技能】 具体的には日商PC検定データ活用2級に合格するレベル(知識科目70点以上/100点、実技科目70点以上/100点)である。【汎用的技能、態度・志向性】
学修成果との関連	1.自ら考える能力を有する。／3.現代社会に関する基本的知識を有する。／6.地域社会への貢献に必要な知識・技能を有する。
授業時間外学習【予習】	〈予習〉 指定のテキストの授業の範囲を読んでおくこと。(30分)
授業時間外学習【復習】	〈復習〉 学習した範囲を繰り返し反復すること。(1時間)
課題に対する フィードバック	課題の結果の傾向を分析し、理解が足りない点について授業中に重点的に解説を行う。
評価方法・基準	課題の提出率及び内容：70% 授業での態度と貢献度：20% 検定試験を受ける者はその結果：10% (検定試験を受けない者は代替として希望者に限り定期試験を実施する。)
テキスト	『よくわかるマスター 日商PC検定試験データ活用2級 公式テキスト&問題集 Excel2019/2016対応 青山 昌裕』 2021年初版 FOM 出版
参考書	別途指示
備考	欠席をした者は翌授業までに担当教員の研究室に配布物等を受け取りに来ること。